

第60回全日本総合ハンドボール選手権大会
 <戦評記録用紙>

*会場 いしかわ総合スポーツセンター Aコート・Bコート

*スコアー

北國銀行	45	22	_____	8	15	HC名古屋
		23	_____	7		

*見出し

国体に続いて優勝を狙う北國銀行の燃えるような意気込みを見た。

立ち上がり、北國は上町、HC名古屋は菅谷の両エースが決めて1対1。そこから北國は6連取し7対1となり完全に主導権を奪った。HCのタイムアウト後も北國は上町を中心に速攻も含め多彩な攻撃で15分、12対4とする。HC名古屋は菅谷を中心に攻撃を展開するが、よく動くディフェンスが絡みつくようにHC名古屋を苦しめる。HCもディフェンスシステムをチェンジし、セットオフenseには対応できてきたが速攻に対して戻りきれず北國、若松に連続して走られる。北國は早い段階からメンバーを入れ替え、走りに徹し、前半を22対8の大差で折り返した。

後半に入っても北國ペースは変わらず、多彩な攻めを見せ16分で20点差とした。オフenseでは上町・仲宗根が軸になり、ディフェンスでは横嶋が相手エース菅谷をよく抑えた。昨日、延長戦を戦ったHCは疲れのためか戻りきれない場面が多く見られた。北國は14名全員を使い、60分間ペースを落とすことなく走り45対15の大差で勝利した。